

社会福祉法人 小牧福祉会 創立30周年記念事業

と き 平成30年12月1日(土曜日)

ところ 小牧市味岡市民センター

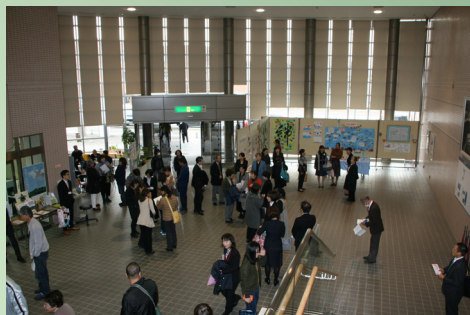
いわさき・本庄 合同いきいき展

12/1～12/7 小牧市味岡市民センターロビー

後援 小牧市

小牧市教育委員会

小牧市社会福祉協議会



記念式典<次第> 1. 開会の辞 2. 主催者挨拶 3. 来賓祝辞 4. 祝電披露
5. 感謝状贈呈 6. 企業功労者表彰 7. 閉会の辞

◎感謝状受賞者(敬称略 順不同)

<協力事業所>

株式会社 小野工業所

株式会社 パロマ 大口工場

ブリヂストン化成製品株式会社 小牧工場

メタルラボ株式会社

リンナイ株式会社 大口工場



<奉仕者>

株式会社 壱番屋ボランティア委員会 住友理工株式会社 異儀田 治

石井 宏一 石川 義夫 板垣 京子 稲垣 朋廣 内山 博

大庭 哲二 長田 充彦 香月 諭子 後藤田 彰子 中村 勲

野村 博子 長谷川 美紀 本村 章子 山口 祐司

<寄贈者>

三菱重工労働組合 名古屋誘導推進システム製作所支部

日本特殊陶業労働組合 小牧支部

株式会社 遊都

<企業功労者>

小野 真由美

後藤 昇

日野 一仁

水野 賢一



記念講演 テーマ 「ともに生きる、ともに輝く」～権利擁護と合理的配慮とは～
 講師 野澤和弘氏 (毎日新聞論説委員)

○記念講演 概要○

戦後の社会福祉は、救済は国家が行い、子ども・老人・障がい者は家族による支援が中心であったが、家族構成も“核家族”から現在は“個族”へと規模が小さくなり、“自助・公助”は“共助”へ、「行政処分の対象は、契約の当事者」「保護の対象は、権利の主体」「福祉の対象は、就労の主体、給付の対象であり納税者」であると、変化している。障害者差別解消法は、障害を理由に一般の人と区別し不利益を与えず、公平で差別的な取り扱いをしないことと、障害特性に応じて一般の人とは別の配慮をしなければ、実質的な公平にならないという合理的配慮を謳い、過度な負担でない範囲で、合理的配慮を求めることができるとしている。

以上のような現状をふまえ、合理的配慮をどう考えるかを、“UDトーク”や“手話通訳者にまつわるエピソード”などを例に、ユニバーサルな効果などを、体験的にもわかりやすく話していただきました。

人口減少と高齢化・働き手不足の問題、就労と福祉などを考えれば、障害者支援が雇用を生み、町おこしに携わり、困窮者を助けるなど支えあいながらも各々役割を持ち、協働して助け合いながら暮らすことのできる地域共生社会「我が事・丸ごと」を実現する必要が伝わってきました。

最後に、野澤氏が教鞭を執られた東大ゼミから「東大生のリアル・障がい者のリアル」というテーマで、双方の、一人の人として生きる姿を紹介していただき、感動の中で講演は終了しました。

当日は、来場していただいたみなさんから、難しい内容をわかりやすく話していただいて理解できた。と好評を得ることができ、この度の講演を企画し、実施できたことを大変嬉しく思いました。



社会福祉法人小牧福祉会 創立30周年記念

平成30年

日時 12月1日(土)
開場 9時00分～

会場 小牧市味岡市民センター
小牧市久保新町60



記念式典 9時15分～

記念講演 10時00分～

毎日新聞論説委員

野澤和弘氏 講演会

「ともに生きる・ともに輝く」

～権利擁護と合理的配慮とは～

【講師プロフィール】 野澤 和弘 (のざわ かずひろ)
 1959年静岡県熱海市生まれ。1983年早稲田大学法学部卒業後、毎日新聞社入社。津支局、中部報道部を経て1992年から東京本社社会部、厚生労働部、児童虐待取材班、障害者虐待取材班などを担当。毎日新聞社科学環境部副部長、社会部副部長、夕刊編集部長を経て2009年4月から論説委員、朝日新聞大宮支局編集長、上智大学非常勤講師、社会保険審議会障害者部委員、一般社団法人スローコミュニケーション代表など。主な著書に「なぜ人は虐待するのか」Sプランニング、「柔例のある街～障害のある人もない人も暮らしやすい時代に～」ふどう社、「あの夜、君が泣いたわけ」中央法規、「わかりやすさの本質」NHK出版、「障害者のリアル×東大生のリアル」ふどう社、など。



ふれあいまつり 13時30分～

◎ なかまのうた

入場無料

◎ 人形劇 (住友理工プレゼンツ：さんさん出前劇場)

- ◆主催 社会福祉法人 小牧福祉会
- 共催 小牧福祉会後援会 にじの会 / いわさき授産所家族会 / 本庄授産所保護者会
- ◆後援 小牧市 / 小牧市教育委員会 / 小牧市社会福祉協議会
- ◆問合せ いわさき授産所 小牧市大字岩崎 1345-4
TEL(0568)75-7450 / FAX(0568)71-1335

午後の部 ふれあいまつり

なかまのうた

いわざき授産所・本庄授産所合同 ハンドベル演奏 「きよしこの夜」 「ジングルベル」

いわざき授産所・本庄授産所合同 ダンス 「YMCA」

いわざき授産所 うた 「いわざき授産所の歌」 伴奏 長谷川先生

本庄授産所 うた 「tomorrow」 伴奏 花園さん

○午後の部 ふれあいまつり 概要○

利用者による“うた”などの発表を行いました。

この日に向けて日々練習を重ねてきた利用者のみんな。オープニングはハンドベルを使い、クリスマスソングの演奏をしました。利用者みんなで音を合わせるのは本番が初めてでしたが、みんなで奏でた優しい音色が会場に響き渡り、とても感動的でした。

次に、“いわざき授産所”“本庄授産所”それぞれのうたの発表を行い、最後は全員で“YMCA”を踊りました。軽快な音楽に、気づくと応援に来てくれていたこまちんとこまき山もノリノリで踊っていました。

アンコールでは会場の方たちも一緒に踊り、会場中が笑顔と拍手でいっぱいの中かでフィナーレ！ またひとつ、すてきな思い出がみんなの心に刻まれたことでしょう。



人形劇 住友理工プレゼンツ さんさん出前劇



○人形劇 住友理工プレゼンツ さんさん出前劇場○

利用者発表の後には、さんさん出前劇場の公演がありました。今回の演目は、「わわわ・わっしょい」・「おむすびころりん」の2つでした。1つ目の演目では、「わっしょい！」とみんなで元気よく叫んだり、「これ、な～んだ？」と、座布団が何のかたちになったか当てたり、会場内が笑いに包まれました。

2つ目の演目はみんなが昔からなじみのあるお話だったので、劇を食い入るように見つめる姿が印象的でした。

最後はみんなで記念撮影。みんなとっても良い笑顔でした。

来場者数 約 500 人

御来賓の皆様、ご来場の皆様、ありがとうございました。

主 催 社会福祉法人 小牧福祉会
共 催 小牧福祉会後援会 にじの会
いわざき授産所家族会
本庄授産所保護者会

小牧福祉会 沿革

- 昭和 59年 12月 小牧市小規模授産所問題研究協議会 設置
60年 10月 小牧市長に報告書提出
62年 6月 社会福祉法人小牧福祉会 設立総会
8月 いわざき授産所 新築工事着工
12月 社会福祉法人小牧福祉会 認可・設立
63年 3月 いわざき授産所 竣工
(財源：国・愛知県・小牧市補助金)
4月 いわざき授産所 開所
- 平成 元年 3月 小牧福祉会「三つの誓い」制定
4月 いわざき授産所 開所1周年記念式典開催
「いわざき授産所の歌」発表
3年 3月 いわざき授産所 増築工事
(財源：国・愛知県補助金・借入金・自己資金)
5年 5月 いわざき授産所 創立5周年記念式典開催
10年 4月 いわざき授産所 創立10周年記念式典開催
7月 本庄授産所 新築工事着工
11年 3月 本庄授産所 竣工
(財源：日本自転車振興会・借入金・自己資金)
4月 本庄授産所 開所
16年 5月 小牧福祉会 評議員会設置
20年 10月 小牧福祉会 創立20周年記念式典開催
(いわざき授産所20周年、本庄授産所10周年)
23年 8月 本庄授産所 増築工事
(財源：愛知県自立支援基盤整備事業費補助金)
10月 障害者自立支援法(現 障害者総合支援法)による事業移行
いわざき授産所
生活介護事業と就労継続支援B型事業の多機能型事業所
本庄授産所
生活介護事業と就労継続支援B型事業の多機能型事業所
- 26年 4月 いわざき授産所 指定特定相談支援事業開始
28年 12月 新町ホームきぼう 開所
30年 12月 小牧福祉会 創立30周年記念式典開催
(いわざき授産所30周年、本庄授産所20周年、新町ホームきぼう2周年)